

## 第49回

# 高松ストーマケア・ 創傷ケア検討会

テーマ

「褥瘡に見えるけど...

これは

**医療関連機器圧迫創傷!**

日時：平成30年6月3日(日)10時～12時

場所：四国こどもとおとなの医療センター

多様な医療機器が治療のために使用されていますが、それによって生じる皮膚障害は後を絶ちません。

今回の検討会では、「医療関連機器圧迫創傷」のテーマのもと、褥瘡との違いや、皮膚を守る予防、実際のケア方法について講演がありました。また、演習では弾性包帯やNIPPVマスク等の正しい装着方法、除圧ケアの実際について体験できました。94名の方にご参加いただき、医療関連機器圧迫創傷について、明日からすぐ臨床に活かせる学びを深めることができました。今回の検討会の様子を少しですがご報告させていただきます。

### 1. 講演 「褥瘡と医療関連機器圧迫創傷の違い」

香川労災病院

皮膚・排泄ケア認定看護師 本村 香代子



### 2. 講演 「医療関連機器圧迫創傷の予防と対応」

三豊総合病院

皮膚・排泄ケア認定看護師 鈴木 紗代子



### 3. 演習 「医療関連機器圧迫創傷の予防方法」

メーカー担当者さんが、NIPPV マスクや弾性ストッキング・弾性包帯などの正しい装着方法について説明していただき、実際に体験できました。

除圧ケアについても、実際に商品を手にとって、使用方法の実際を経験でき、みなさん熱心に聞かれていました。



NIPPV マスク



弾性包帯



弾性ストッキング



除圧ケア



多数のご参加ありがとうございました。次回の検討会は **50回記念大会**です。

ぜひご参加ください!!!

**H30年9月23日(日)高松テルサ 13時~17時**

